

今年も当塾が

解説

2004年から

2022年(令和4年)2月26日(土曜日)

千葉日報(日刊)

2022年(令和4年)2月25日(金曜日)

2022年度公立高校選抜試験 出題傾向

作文は意見を書く形式

国語

全体の構成は昨年度本試と同じ。昨年度同様、二十五字以内の変更になかった。

大問1は聞き取りテスト。昨年度同様すべて選択問題で配点も同じ8点であった。

大問2、3は漢字の読み書きでこれも問題数、配点とも昨年度本試と同じであった。

大問4は昨年度同様の説明的文章の読解。品詞の問題が「みる」の使い方になり、純粋な文法問題は出題されなかった。昨年度出題された四十字以内という比較的長い記述問題がなくなった。小問は一題が枝問となったが問題数としては同じである。配点は一点減り、余裕が出たが、平均点としては、その分は大問5に移動した。小問4に追加の文章が九行増えたため。

(金坂 嘉一)

読解力試される大問4

数学

問題構成が変更になって、大問4題となった。昨年度まで大問1は計算、大問2は小問集合だったが、これを統合して大問1となり、大問3以後がそれぞれ繰り上がった形だ。

大問1では、純粋な計算問題は6題から3題に減った。新課程で高校から中2に降りてきた箱ひげ図が出題されている。配点が五十点あり、昨年度までよりもやや難しい。

大問2は二次関数の問題。小問3は図形の性質を使いながら解く問題だが、難易度が高い。

大問3は平面図形の問題。三角形の合同の証明と、相似を利用した面積の比を求める問題で、昨年同様。

(金坂 嘉一)

プレゼン題材に話す力

英語

大問7の小問1は新傾向の問題。英語四技能のうちの「話す」と「読む」を見せる問題で、睡眠についてのプレゼンテーションを題材にした問題であった。

大問8は昨年度は電子メールを使った問題だったが、今年度は故郷を紹介する長文読解問題となった。

大問9は対話文の読解問題で、大問4の問題文がやや長くなかった。集中して聞き取りができたかが差となっただろう。

大問5は文法問題で、昨年度本試と同じ形式で配点も同じであった。

大問6の英作文は昨年度から四コマ漫画のセリフを書かせる問題となった。昨年度は最後のコマの落ちだったが、今年度は最後のコマに合せて三コマ目にセリフを入れる形式となった。

(金坂 嘉一)

大問8はSDGs関連

社会

昨年度はコロナ禍の学校休校の影響で、大問8の国際関係がカットされたが、今年度は例年通りの大問構成となった。

大問1は総合問題で、歴史整理問題も出題されている。

大問2は日本地理で、基本問題、統計や地形図など多面的な出題である。

大問3は世界地理。時差やモノカルチャー経済の問題点など基本的な問題だ。

大問4は江戸時代までの歴史で、日本の寺社をテーマにした易しい問題であるが、年代整理問題が出題されている。

大問5は明治以降の略年表を使った歴史。サンフランシスコ平和

大問7は経済分野。大問8は国際、国連によるSDGsに関する問題。新課程では全教科にわたってSDGsが扱われており、それに沿った出題である。

大問8は国際、国連によるSDGsに関する問題。新課程では全教科にわたってSDGsが扱われており、それに沿った出題である。

全体としては基本的な問題が多く、現代社会に対する興味・関心、思考力を問うものが目立つ。教科書を中心として、ニュースなどで現代社会を取り巻く課題にふれることも大切だろう。平均点は昨年度よりやや低くなりそうだ。

(金坂 嘉一)

時間とる記述問題多く

理科

問題の構成は昨年度本試と同様で、物理・化学・生物・地学から、また履修学年も各学年からバランスよく出題されている。

大問1は小問集合。フックの法則、化学反応式の知識、受精卵、震度など基本問題だ。

大問2は動物。字数指定のない記述が出題された。

大問3は状態変化。気体の体積を求める計算問題が出題されている。

大問4は天気。水蒸気量についての計算問題が出ている。

大問5は電流と発熱。ここでも字数制限のない記述がみられる。

大問6は天体。30字以内の記述問題がある。

大問7は運動とエネルギーでグラフ問題も出題されている。

大問8は動物の刺激と反応について、ここでも記述がある。

大問9は新課程で入ったダニエル電池について、記述も出題されている。

昨年度までと比べて、記述や計算が多いのが特徴である。難易度が高いというわけではないが、これだけ記述や計算が多いと、解答するのにかかる時間配分に苦労した受験生が多かったのではないだろうか。バランスのとれた勉強を進めるとともに、計算練習や理由を文章で書く練習などもしっかりと行うことが必要である。

平均点は昨年度よりもやや下がるものと思われる。

(金坂 嘉一)

平均点予想
265 ± 5点
(前年度286点)
20点程度ダウン

3年連続公立・私立
立高校全員合格!!